

湘南平塚乗り物フェスタで自衛隊をPR

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、10月4日（日）、湘南平塚自動車学校で行われた「湘南平塚フェスタ2015」に参加した。

当日は、地元消防署及び警察の装備車両等展示のほか、同事務所では自衛隊車両（パジェロ）の展示及び乗車体験並びに迷彩服の試着体験を行った。

車両展示では地元住民等、多くの来場者が熱心に見入っていた。また、迷彩服の試着体験では多くの家族連れが列を作り、家族で記念写真を撮って大いに盛り上がった。

平塚地域事務所は、「今後も、地域に密着した募集・広報活動を積極的に行い、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、募集広報を継続していきたい」としている。



迷彩服試着



一般広報・説明等



ドーラン体験

大磯町防災フェア支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、10月4日（日）、大磯町運動公園で実施された大磯町防災フェアを支援した。

会場には、町民及び関係機関約2,500人が集まり、自衛隊が行ってきた各種災害派遣の写真パネル展示及び第4施設群から支援を受け、炊事車とオートバイの展示を行った。また、自衛隊の募集・広報を行うとともに、子供用の戦闘服試着コーナーも設け、多くの子供たちが記念撮影に訪れた。ブースには中崎大磯町長及び河野衆議院議員も訪れ、日頃の活動と防災意識の高揚を促す防災フェアへの支援に対し、感謝の言葉と今後の自衛隊に対する期待を述べられた。町民の皆さんからは、「自衛隊の存在が町民の安心につながっている、ありがとう。頑張ってください」との声も多く聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後とも自衛隊への大きな信頼と期待を失うことのないように、こうしたイベント支援及び広報活動を積極的に継続していき、自衛隊の活動への理解を深めていきたい」としている。



大磯市長（左端）訪問



偵察バイク体験



大磯防災フェア



河野太郎議員来訪